



多国籍企業成功の秘訣は？

成功企業が語る海外派遣社員研修プログラム 企業人の異文化コミュニケーション力をつける

大塚製薬株式会社能力開発研究所よりの提案

『多様性ゲーム エイリアンの 住む惑星への旅立ち』刊行

現地で使われている言葉を学ばせて、それで「よし」としていませんか？

日本企業は世界中のあらゆる地域で、400万人以上もの現地の人たちを従業員として雇用し、何千万あるいは何億の人たち・企業を顧客としています。さらに多くの企業が自らの生き残りのために海外への進出、海外取引を目指しています。その成功のためには世界各国の顧客・従業員をはじめとするステークホルダーとの効果的ですぐれたコミュニケーション能力を育成する必要があります。

現地の言葉を学ばせてよしとしていませんか？

ところが、私たち個人はもちろん、彼らを派遣する企業は、そのために果たしてどんな工夫や努力をしているのでしょうか？単に現地で使う言葉、それも促成の日常会話やよくて簡単な email ライティングの短期講習でお茶を濁しているのではないのでしょうか？それでは、真のコミュニケーションには到達できません。相手の多様性をいかに理解し、誰もが、特に外国人に持つ偏見や固定観念を除去することがなければ、コミュニケーション力は高まりません。

自分の偏見や先入観に気付かなければ、相手の多様性を認めることはできない。

ポートランド大学講師で心理学者のリチャード・パワーズは、ゲーム参加者に、ゲームを通して自らの憶測・偏見・先入観に気付かせるという理想的ゲームを開発しました。それが『多様性ゲーム エイリアンの住む惑星への旅立ち』です。特にわが国においては、異文化コミュニケーション力取得が急務の社員研修用のゲームとして注目されました。

9人～40人を対象に行うゲーム：社員研修としては最適の人数

エイリアンの住む惑星へ送る使節団を様々な国籍、年齢、職業、個性を持つ男女の候補者から選び、得点を競うゲームです。参加者は「相手の主張の仕方、考え方がわかり、相互コミュニケーションの方法を考えることができた」などと、劇的に異文化コミュニケーションの背景に理解を示し始める人がほとんどです。

この本にはゲームそのもの、その手順、使用するツール、集計方法、評価の仕方まで含まれています。

この1冊があれば、このゲームを実施することが可能です。実際にわが国で行われたゲームの実施報告、そして多様性についての原著者をはじめとした多面的なインタビュー、対談が用意され、企業の多様性の取り組み方に多くのヒントを与えてくれます。翻訳・編集は、大塚製薬株式会社能力開発研究所の西野友善医学博士です。



・タイトル：『多様性ゲーム エイリアンの住む惑星への旅立ち』

・出版社：株式会社バベル（バベルプレス）

・ISBN：978-4-89449-070-3

・判型：A5 判

・定価：2100 円（税込み）

・著者：リチャード・パワーズ

・ 翻訳：西野友善

・ 企画：大塚製薬株式会社 能力開発研究所

・ 発行日：2008 年 9 月 1 日

ご購入は、eガイア書店 <http://www.egaiasyoten.com/shopdetail/015000000006/>

この多様性ゲームによる社員研修をお考えの企業は、出版者の方へご相談ください。翻訳者西野友善氏からのアドバイスをお伝えします。

この件に関するお問合せは以下にお願いします。

株式会社 バベル（バベルプレス）

広報担当：高松・藪下

〒106-6004 東京都港区六本木 1-6-1 泉ガーデンタワー 4 階

TEL：03-6229-2441 FAX：03-6229-2439 e-mail address：press@babel.co.jp

(このリリースのデジタルデータ、表紙画像データなどをお送りいたします。ご連絡ください)